

島根県視覚障害者福祉協会女性部 研修会

日時: 令和元年5月19日(日曜)午後1時から2時半頃まで

場所: 島根ライトハウス ライトハウスライブラリー交流室

講演内容: 災害に強くなる視覚障がい者

～視覚障がい者は災害に対し何をすべきか～

講師: 防災危機管理アドバイザー 林 繁幸 氏

1. 災害とは

自然災害だけでなく、人為的な大規模事故も災害と言う。

2. 災害を知ることから始める

敵を知り己を知れば百戦危うからず！

3. 今恐れられている三つの災害

地震災害・豪雨災害・台風災害

4. 災害から命を守るには

自然災害には勝てない。

あらゆる方法で情報を取る。

早めの行動をキーワードに。

5. 近年の災害の傾向

異常気象等の影響で災害が大規模化するとともに、多発する傾向にある。

6. 災害弱者が犠牲になる理由

危険察知能力が衰える。

素早い行動が出来なくなる。

正常化の偏見が強くなる。等

7. 避難のタイミングと避難方法

どの時点で避難を開始するかあらかじめ決めておく。

避難する時の持って出るものは。

避難所へのルートと避難手段は。

8. 具体的避難方法

地震時は徒歩で、豪雨の時は早めに車で避難する。

9. 避難所へ持参するもの

旅行する時に持って出る物を参考とする。

10. 避難所の種類

一時避難所、指定避難所、福祉避難所がある。

11. 避難所での生活

避難者の状況に応じて、避難所で振り分けられる。(トリアージ)

12. 備えの原則

心の備え、物の備え、地域の備え

13. 備蓄品の上手な備え方

日頃から使いながら蓄える。一か所にまとめて保管する。持ち出すときはリュックで。

14. 自主防災組織の重要性

自分たちの地域は自分たちで守る組織が「自主防災組織」。

15. 要配慮者支援体制の具体的方法

自主防災組織では、要配慮者に対し、いざという時の支援体制を決める必要があるため、支援を受ける者は、あらかじめその状況を伝えておくこと。

16. 我が身を守る五カ条

- ① 正常化の偏見を捨てること。
- ② 10%の結果より90%のオオカミ少年を信じろ。
- ③ 遅いことは誰でもする。如何に早く動くかで決まる。
- ④ 高齢者等要援助者は何事にも1番になれ。
- ⑤ 災害軽視は百害あって一利なし。

17. 体験

防災グッズに触れてみる。

非常食を作って試食する。